

第96期 2019年 1月 1日から
2019年 6月30日まで

中間期株主通信

サッポロホールディングス株式会社

証券コード 2501



01

[トップインタビュー]
「変化の年」として
構造改革を推進し、
成長分野の拡大を目指します。



03

[サッポログループトピックス]
黒ラベル THE BAR
ブランド初の通年型アンテナショップが
銀座にオープン



05

[サッポログループトピックス]
大崎上島町(広島県)で
レモン栽培開始



07

[CSR]
ステークホルダーの皆様との
CSR4つの約束



09

[CSR特集]
気候変動によるリスクに
大麦とホップの「育種」を通じて挑戦する



株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループ事業へのご理解とともに厚いご支援を賜り、心より感謝申し上げます。ここに2019年度上期の営業状況をご報告し、今後の成長に向けた取り組みをご説明させていただきます。何卒ご一読のほどお願い申し上げます。

代表取締役社長

尾賀 真城

「変化の年」として構造改革を推進し、成長分野の拡大を目指します。

Q1 2019年度上期を振り返り、営業状況についてお聞かせください。

「サッポロ生ビール黒ラベル」が好調を維持。ビール再強化の取り組みが成果を上げました。

2019年度上期は「サッポロ生ビール黒ラベル」の缶製品が売上の伸びを維持し、今年2月発売の新商品「エビス プレミアムエール」が好評を得るなど「ビール再強化宣言」の事業方針にもとづく取り組みが成果を上げました。「サッポロ生ビール黒ラベル」は、5年連続の売上アップが見込める状況にあり、この7月には通年型アンテナショップとして「サッポロ生ビール黒ラベル THE BAR」を自社物件である「銀座プレイス」内にオープンするなど、下期も引き続きマーケティング施策に注力していきます。またRTDは、昨年夏に発売した「サッポロチューハイ99.99<フォーナイン>」が主軸商品となり、売上拡大に寄与しました。

一方、発泡酒・新ジャンルの売上数量は前年同期を下回り、食品飲料事業も暖冬によるスープ類の販売苦戦などを受け、国内売上が低調に推移しました。

損益面では、日本・アジア酒類において、ビール強化による品種構成の改善効果や、経費コントロールによる半期での黒字化に加え、不動産事業での投資不動産の売却益を計上したことなどにより、前年同期比で損失幅が縮小しました。

以上の結果、当上期の連結業績は、売上収益2,429億円(前年同期比0.5%増)、営業損失1億円(前年同期は30億円の損失計上)、税引前損失8億円(同36億円の損失計上)、親会社の所有者に帰属する四半期損失8億円(同25億円の損失計上)となりました。

Q2 構造改革の取り組みと 新たな事業展開についてご説明願います。

本社機能のスリム化・最適化を実施。
北米酒類事業や「食」分野の拡大戦略を推進中です。

当社グループは、この2019年度を「変化の年」と位置付け、様々な構造改革を進めています。その一つとして、サッポロホールディングス社とサッポログループマネジメント社の経営統合によるグループ本社機能のスリム化・最適化です。法務やIT関連、グループリスクなどにかかわる全社横断的な機能を集約しつつ、各事業会社を効果的に支援するホールディングスへと転換し、より強固なグループ経営体制を築きます。

同時に、今後「注力していく事業」と「手を引く事業」を明確化し、2020年までに構造改革の成果を具体的にお伝えできるよう、取り組みを進めています。

新たな動きとしては今年5月、北米酒類の拡大に向けて、カナダのスリーマン社を通じ、同国アルバータ州でビール醸造を手掛けるワイルドローズ社の株式を取得し、グループに迎えました。アルバータ州は、スリーマン社の戦略市場において最後発の地区ですが、直近で売上成長率の最も高いエリアであり、今後はワイルドローズ社のブランドおよび製造拠点を活用し、売上を伸ばしていく考えです。

「食」分野の拡大に向けた動きでは、今年1月末にポッカ サッポロフード&ビバレッジ社(以下、ポッカ)を通じて、香辛料など食品原料を製造するヤスマ社の株式を取得しました。同社の原料調達力と商品開発力を活かし、ポッカのビジネスとのシナジーを発揮させることが狙いです。またポッカでは、堅調に成長する豆乳ヨーグルトのさらなる積極展開に向けて、群馬工場内に製造ラインを新設するとともに、「SOYBIO(ソイビオ)」ブランドから飲料タイプの新商品を同6月より発売しました。

Q3 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

環境保全への取り組みを強化しつつ、TCFDの提言を踏まえた情報開示を行ってまいります。

このたび、株主・投資家の皆様をはじめとするステークホルダーに当社グループの2018年度の企業活動をご報告する「統合報告書2018」*を発行しました。詳細な財務情報・非財務情報のご提供を通じ、当社グループが目指す社会価値の創造をわかりやすくお伝えする冊子としてご覧いただければ幸いに存じます。

*<https://www.sapporoholdings.jp/ir/library/factbook/>

なお当社グループは、地球温暖化防止に向けた活動の一環として、金融安定理事会が設立した「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」の提言への賛同を表明しました。今後、環境保全への取り組みをさらに強化しつつ、気候変動がもたらすリスクと機会について、TCFDの提言を踏まえた情報開示を行ってまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



サッポロビール

黒ラベル THE BAR
ブランド初の
通年型アンテナショップが
銀座にオープン

7/5
オープン

★
コンセプトは
「最もビールがおいしい瞬間はその日の1杯目。」

「サッポロ生ビール黒ラベル THE BAR」はご来店いただいたお客様がその日の1杯目を「完璧な生」でスタートしていただくことへ徹底的にこだわった通年型のビヤバーで、注ぎ方が異なる3つの黒ラベルを体験できます。3つの黒ラベルとは、既定の3C^(注1)を実現し、パーフェクト黒ラベルカランで注がれる「完璧な生」を目指す『パーフェクト黒ラベル』、日本のビールの原点ともいべき、のどを駆け抜ける爽快感を味わうために、スウィングカランを復活させ、一度注ぎを実現した『ファースト』、柔らかいのどごしを味わうために、パーフェクト黒ラベルカランから液体を注ぎ、スウィングカランから泡付けを行った『ハイブリッド』です。その他、黒ラベル



ブランドサイトもぜひご覧ください。 [URL https://www.sapporobeer.jp/beer/](https://www.sapporobeer.jp/beer/)

がおいしく飲める薄口専用グラスを870名様限定で「マイグラス」として保管できるサービス、銀座の名店とコラボしていくサンドウィッチが楽しみいただけるフードメニューなどもご用意しています。

(注1)3Cについて

- ・ CREAMY ミクロン単位のかき細やかさにこだわった、口当たりのいいクリーミーな泡を7：3の黄金比率でお届け。
- ・ CLEAR ジョッキやタンブラーを徹底的に洗浄し、飲むたびにレーシングができるクリアな生ビールを実現。
- ・ COLD 味や香りといった黒ラベル本来の飲み飽きないうまさを追求め、グラスから樽、注出まで徹底した温度管理を行う。



「完璧な生体験」で 黒ラベルブランドのファン化につなげる

「サッポロ生ビール黒ラベル」は現在4年連続で売上が伸びているブランドです。売上を伸ばし続けている要因の1つとして、ブランドと顧客の接点を拡大する取り組みがあげられます。「完璧な生」をリアル体験できるイベントを全国各地で開催することで黒ラベルのファンを着実に増やしてきました。この銀座にある「サッポロ生ビール黒ラベル THE BAR」で「完璧な生体験」を通じてたくさんの方が黒ラベルのファンになってもらえれば嬉しいです。



ブランド戦略部
田邊 稔博

サッポロビール

グランポレール北海道北斗ヴィンヤード

サッポロビールは昨年6月に「グランポレール北海道北斗ヴィンヤード」を開園しました。新たな産地が増えたことで今後ますますバラエティーに富んだ日本ワインをお届けできるよう努めてまいります。



Innovative Brewer

Innovative Brewerブランドは、香りが個性的なホップでビールを選ぶ楽しさを伝える「That's HOP!」と、新しいビールスタイルや味でビールの楽しさを広げる「That's WOW!」の2つのシリーズで商品を展開していきます。



北海道産ビール麦で30年ぶりの品種切り替え

北海道で協働契約栽培されるビール麦が、本年産から当社育成品種の「きたのほし」に切り替わりました。この品種は国産では初のLOXレスの性質をもつ“旨さ長持ち麦芽”の麦です。



琥珀エビス缶期間限定発売

サッポロビールは「琥珀エビス」缶を9月10日に期間限定で発売します。

今年は特長である琥珀色の液色に磨きをかけ、より美しく仕上げました。コク深く、まろやかな味わいをぜひお楽しみください。



大崎上島町(広島県)でレモン栽培開始

レモン生産振興に向けての取り組み

ポッカサッポロフード&ビバレッジは、長年にわたりレモン商品を開発すると共に、レモンの研究、レモンの消費需要の拡大およびレモンに関する啓発活動などを行っています。2013年にはサッポロホールディングスを含め、広島県と「瀬戸内 広島レモン」の需要拡大やブランド価値の向上に向けてパートナーシップ協定を締結し、2016年には広島県豊田郡大崎上島町と包括協定、2017年には広島県呉市とレモンの振興および地域の活性化を図ることを目的とした連携協定を締結してきました。また、2018年5月より県立広島大学らと共に大崎上島町民約500名の参加による、継続的なレモン摂取による健康状態を5年間にわたり調査を開始、さらには大崎

上島町の町民を対象とした「レモンメニューコンテスト」を2018年9～12月に実施し、その受賞レシピを掲載した「広島のレモンレシピブック」を制作して島内で配布するなど、レモンの生産振興に向けて様々な取り組みを行っています。



「広島のレモンレシピブック」

大崎上島町でレモンの栽培を開始

食の安全志向の高まりを背景に、国産レモンの需要は高まっている一方で、国内のレモン農家の高齢化や後継者不足などの影響から生産や供給が不足している状況です。ポッカサッポロフード&ビバレッジは、自らがレモンの栽培に携わることで、その課題を理解し、地元農家やJAの皆様と共にレモン生産振興を進め、さらなる国産レモン市場の活性化に寄与したいとの思いから、2019年4月より大崎上島町でのレモン栽培を開始しました。



大崎上島町でポッカサッポロフード&ビバレッジが開始したレモン栽培地

サッポロライオン

サッポロライオン初！若手社員が担当する
「銀座ライオン 新橋トレーニングセンター店」7月3日開店

7/3
開店

単なる実験店舗ではなく新たに会社組織として「トレーニングセンター」を新設し、研修店舗でありながら通常通りの店舗営業を行い、接客・調理技術、販売促進策等の店舗運営に関するマネジメント業務全般を体験・習得することで、早期に戦力化・定着化を図ります。



銀座ライオン 新橋トレーニングセンター店
住所：〒105-0004 東京都港区新橋1-15-5 ペルサ1階

静岡県初出店！ご当地メニューが充実した
「YEBISU BAR アスティ静岡店」7月11日開店

7/11
開店

静岡名物の黒はんぺんや、しらすを使用したメニュー等ご当地感あふれるメニューをご用意しました。ピヤカクテルにも、静岡県菊川産のあかでみトマトを丸ごとしぼったトマトジュースでつくる「静岡レッドアイ 紅富士」と、静岡生まれの方には、うす茶糖の呼び名でなじみ深い定番ドリンクを使用した「抹茶香るエビス 夏富士」をご用意します。



YEBISU BAR アスティ静岡店
住所：〒420-0851 静岡県静岡市葵区黒金町54-3 アスティ静岡 東館1F

創業120周年創業祭「8月4日はピヤホールの日。」

8/4
8/5

～おかげさまで、サッポロライオンは今年120周年～

1899年8月4日「恵比寿ピヤホール」は、銀座の新橋際にエビスビールのプロモーション店舗としてオープンしました。これが、サッポロライオンの発祥であり、わが国のピヤホールのはじまりです。一世紀を超えるご愛顧に感謝と、新しい時代にも変わらぬご愛顧への願いを込めて例年創業日当日の8月4日のみである生ビール半額イベントを、今年は特別に8月4日(日)・8月5日(月)の2日間行いました。



サッポロホールディングス

ワイルドローズ社グループ傘下に

カナダ・スリーマン社は成長余地の大きい同国中央部での事業拡大の為、アルバータ州所在の地域ビール会社「Wild Rose Brewery」を新たに傘下に加えました。

同ブランドと製造拠点獲得に加え、その販路を活用しスリーマン・サッポロブランドのさらなる浸透を目指します。



サッポロ不動産開発

恵比寿ガーデンプレイスにコワーキングスペースオープン

開業25周年の節目を迎える今秋、グラススクエアの一部を“働くこと”と“生活すること”が融合したライフスタイルを提案する空間としてリニューアルオープンします。そこで働く方々と恵比寿ガーデンプレイスの来街者がつながる機会を生む複合的なエリアにご期待ください。



※イメージにつき変更になる可能性があります

GINZA PLACE地下1階リニューアル



銀座初出店となる台湾カフェ「春水堂」^{チュンスイタン}と「サッポロ生ビール黒ラベルTHE BAR」がオープン。同時に東京メトロ銀座駅から隣接する銀座コアへ繋がる共用部分も、賑わいを感じるデザインに全面リニューアルして来館者をお迎えします。

サッポロファクトリー2条館、3条館2階リニューアルオープン

「アクティブスタイル」をテーマに、スポーツライフスタイルブランドを集積したフロアとしてリニューアル。北ガスアリーナ札幌6(中央体育館)とも空中歩廊で接続しました。これからも創成川イーストエリアのフラッグシップとしてエリアの発展に寄与していきます。



日本農芸化学会 企業研究者活動表彰

価値創造フロンティア研究所 脇田義久は2019年度日本農芸化学会企業研究者活動表彰を受賞しました。本年度より新設されたこの賞は、企業研究者の学会活動の奨励を目的としており、長年の乳酸菌や腸内環境に関する研究における地道な取り組みが認められ、今回の受賞となりました。

豆乳ヨーグルトやレモン食品に成果を活かしたいと思います。



サッポロホールディングス
価値創造フロンティア研究所
脇田 義久

ステークホルダーの皆様とのCSR4つの約束



CSR重点課題と4つの約束概念図

サッポログループは、長期経営ビジョンに「コーポレートコミュニケーションの強化」を掲げ、CSR重点課題を特定し分野別に整理して、4つの約束を定めました。事業の基盤を成すコーポレートガバナンスとともに、この目標達成に向けた取り組みによりSDGsの実現に貢献し、成長の源泉であるブランドや信頼を形成していきます。

約束1 「酒・食・飲」による潤いの提供

酒類、食品飲料の10工場で安全認証を取得

サッポログループは、食品製造組織に向けた国際的な食品安全マネジメントシステム規格「FSSC22000」の認証を、酒類8工場、食品飲料1工場で取得していましたが、2019年6月に食品飲料の名古屋工場を新たに加え、合計10工場としています。これらのシステムを活かして、今後もグループ全体で品質保証レベルの向上に取り組んでいきます。



約束2 社会との共栄

熊本県益城町の次世代育成事業を支援

サッポロホールディングスは、甚大な被害を受けた熊本県益城町の子どもたちに元気と笑顔を届ける取り組みを支援しています。

2019年4月には「盛り上がりろ益城」ドリームフェスタ2019を開催し、町民933名を無料招待しました。



株主優待制度を活用した次世代育成支援

サッポロホールディングスでは、2008年度より優待品の代わりに寄付を選択していただいた株主様の寄付金に当社が同額を加えた金額を社会貢献に活用しています。2012年度からは東北の復興支援をしており、2018年度分は、次の3つの取り組みに対して総額317万2,000円を寄付しました。



- 岩手県大船渡市へ「市の花“椿”をテーマとした学習支援」
- 岩手県大槌町へ「小中一貫教育の柱“ふるさと科”学習支援」
- 福島県へ「国内外の高校生が発信する福島の食の安全”事業支援」

約束3 環境保全

軽量化したビール用缶蓋が「第43回木下賞」を受賞

サッポロビールは「ビールテイスト飲料用軽量アルミ缶蓋の開発」において(公社)日本包装技術協会の「第43回木下賞 改善合理化部門」を受賞しました(サッポログループでは、第41回のポッカサッポロフード&ビバレッジ社以来の受賞)。開発した技術により、缶蓋の約7%軽量化を実現しました。当社のビールテイスト製品^(注)の缶蓋すべてを同品に切り替えた場合、2018年実績で約1,200トンのCO₂排出量の削減効果が見込まれます。2018年5月から千葉工場製品に先行導入し、既に同缶蓋を使用した製品の出荷は2億缶を超えており、順次他工場への展開を開始する予定です。今後も業界全体を巻き込みながら、環境にやさしいパッケージの開発・導入を進めてまいります。

(注) ビール、発泡酒、新ジャンル、ノンアルコールビールテイスト飲料



「ホワイト物流」推進運動の自主行動宣言を提出



社員のフォークリフト試乗体験による安全指導

物流を取り巻く環境は年々厳しさを増しており、労働力不足や物流コストの増加などの課題が顕在化しています。サッポログループ4社は「ロジスティクス業務の標準化」および「グループ拠点ネットワークの構築」を中心に、物流の効率化・働きやすさ向上に向け取り組む『ホワイト物流』推進運動の自主行動宣言を提出しました。

約束4 個性かがやく人財の輩出

がんアライ宣言ゴールド受賞「Can Stars(キャンスターズ)」発足

サッポロビールは、3月26日にがん経験者の社内コミュニティ「Can Stars (キャンスターズ)」を立ち上げました。

民間表彰「がんアライ部・アワード」でゴールドを受賞した「がんアライ宣言」を具現化したもので、がん治療と仕事の両立支援、がんを経験した社員が安心して働ける環境整備を目的としています。社員の働きやすさと働きがいを向上させ、会社の強さにつなげられるよう取り組みます。



健康経営中期計画策定、健康経営優良法人2019~ホワイト500~

サッポロホールディングス、サッポロビール、ポッカサッポロフード&ビバレッジ、サッポロライオンは、経済産業省が健康経営銘柄に準じた先進的な企業を選ぶ「健康経営優良法人2019~ホワイト500~」の認定を受けました。

今年は「2019年-2022年健康経営中期計画」を策定し、「いのちを守る」「健康を増進する」「違いをつよさにする」という目的のもと健康増進につながる活動を強化しています。





気候変動によるリスクに

特集

大麦とホップの「育種」を通じて挑戦する



これまで、これからも、ビールのおいしさは
大麦とホップの「育種」が支える

お客様によりおいしいビールをお届けしたい——サッポロビールはこうした想いを実現するため、創業当初から、大麦とホップ両方の「育種」に取り組んできました。育種は、品種の交配・選抜を長い年月にわたって繰り返す、非常に地道で手間のかかる取り組みです。大麦とホップの両方を育種し、サッポロビール独自の原料調達システム「協働契約栽培*」でそれらを調達することで、お客様に「おいしさ」と「安全・安心」を提供しています。

開拓使麦酒醸造所から続くホップの育種・研究の成果の一つとして、今なお作付けされている優良品種「信州早生」種があります。病気に弱く栽培が難しいホップの育種・研究で培ったノウハウは、生産者への栽培指導でも発揮され「協働契約栽培」を通じて良い原料の調達に役立っています。また、サッポロビールの育種技術がホップの危機を救ったこともあります。世界有数の品質を誇り、世界中でプレミアムビールなどに使用されている最高級ファイニア

ロマホップ産地として知られるチェコのザーツ地方において、1970年ごろからウイルスによる影響で品質が低下し、収量が減少する事態が発生しました。サッポロビールは1989年から当地で技術指導を行い、ウイルスフリーの苗を作出して栽培し、その結果かつての優良品質に蘇らせることに成功しました。その後1994年に同国内にV.F.Hunmuls社を設立し、ウイルスフリー苗の生産・販売を継続しています。

そして今、気候変動が引き金となり、異常気象に伴う農産物の病害や干ばつ、収量減などのリスクが高まる中、育種を通じたサッポロビールの挑戦は続きます。例えば、大麦では収穫時期の降雨を原因とした「穂発芽」や「赤かび病」、「裂皮」への懸念が北海道などにおいて増加しています。栽培上、品質上のこうした課題に対して、サッポロビールは育種に関する知見やノウハウをもとに、農業性にも優れた高品質な品種開発を行うことで、解決を目指しています。また、大麦やホップの原料調達においては、産地を世界各地に分散化させることで、気候変動による影響を回避・低減させる体制をとっています。これからもおいしい



ビールとお客様の笑顔のために、気候変動が与える影響に対応しながら、育種からビールづくりに挑戦し続けていきます。

産学連携パートナーシップによる グローバル課題の解決へ

サッポロホールディングスは、地球的規模での食料・環境問題の解決に貢献するため、2017年7月に学校法人東京農業大学と包括連携協定を締結しました。



東京農業大学とはそれまでも、サッポロビールが学部レベルで大麦やホップの生産・利用法などで連携していましたが、学部から大学へ、サッポロビールからサッポロホールディングスへ関係を拡大したことを弾みに、食品や関連産業の活性化に貢献できる活動や、商品開発への支援を通じた国際協力活動などに積極的に取り組んでいます。

サッポログループはこうした産学連携によるパートナー

シップも活用しながら、気候変動によるリスクへ真正面から立ち向かうとともに、リスクを機会に変え、安全・安心で高品質の原料調達と持続可能な生産活動へとつなげていきます。

東京農業大学オホーツクキャンパスと進める 共同研究・調査

東京農業大学とサッポロビールは現在、ホップの根系の発達が乾燥など水ストレスへの適応能力を高めているのではないかという仮説を立てながら、根系発達の品種間差異について共同研究を進めています。

こうした取り組みを通じて、異常気象に伴う干ばつや多雨などの影響に対応できる品種の開発を目指しています。

* 協働契約栽培は、お客様に「おいしさ」と「安全・安心」を提供するために、大麦・ホップの専門家である「フィールドマン(社員)」が、直接産地に赴いて生産者と直接協働する、サッポロビール独自の原料調達システムです。協働契約栽培の3つの柱は次のとおりです。

- (1) 大麦とホップの産地と生産者が明確であること
- (2) 生産方法が明確であること
- (3) 当社と生産者の交流がされていること

SDGsへの取り組みに対する第三者意見

今回評価対象としたテーマは「大麦・ホップの育種」です。このテーマに対する取り組み状況を、SDGs4つの目標(目標2「飢餓をゼロに」、目標13「気候変動に具体的な対策を」目標14「海の豊かさを守ろう」および目標15「陸の豊かさを守ろう」)と関連の深い「SDGs達成に向けた日本への処方箋」61項目で評価しました。その結果、17項目がSDGsと紐づけができる取り組みと評価されました。

一方で、取り組みを一部工夫することで、SDGsとの紐づけがより明確化されると思われる項目がさらに9項目ありました。今後このテーマを推進する際に、SDGsとの関連性を考慮することで、活動がより持続可能なものとして展開できる潜在力が大きいと思われます。このように、さまざまな取り組みについてSDGsとの関連性評価を行うことで、より持続可能な活動として展開されることを期待したいと思います。

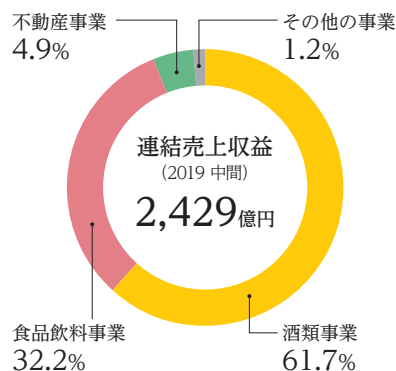
* 本第三者意見の目的は、サッポロホールディングス株式会社のSDGsに対する取り組み状況について、組織の体系的かつより良い取り組みの推進に向けた意見を提供することを目的としており、一般に公正妥当と認められる社会環境報告書などの作成基準に準拠して正確に測定、算出され、かつ事項が漏れなく表示されているかどうかについて判断した結論を表明するものではありません。



一般財団法人
日本品質保証機構
地球環境事業部 次長
浅川 健一氏

事業の概況／連結決算概要

セグメント別売上収益構成比



★ セグメント別売上収益 (億円) 単位未満四捨五入

	前中間	当中間	増減率
酒類事業	1,510 億円	1,498 億円	△0.8% ↓
食品飲料事業	758 億円	782 億円	+3.2% ↑
不動産事業	121 億円	120 億円	△0.2% ↓

※2019年度より、従来の「国内酒類事業」「国際事業」「食品・飲料事業」「外食事業」「不動産事業」の5報告セグメントを、「酒類事業」「食品飲料事業」「不動産事業」の3報告セグメントに変更しています。

★ 連結財務ハイライト (億円) 単位未満四捨五入

	2017		2018		2019	
	中間	期末	中間	期末	中間	期末(予想)
売上収益	2,507	5,366	2,417	5,219	2,429	5,488
営業利益	12	128	△30	108	△1	126
親会社の所有者に帰属する 四半期(当期)利益	△2	72	△25	85	△8	87
資産合計	6,402	6,647	6,439	6,397	6,393	—
資本合計	1,626	1,757	1,618	1,647	1,657	—
親会社所有者帰属 持分比率(%)	24.8	25.9	24.6	25.2	25.5	—

※2018年度より、国際財務報告基準 (IFRS) に準拠して連結財務諸表を作成しております。

比較情報となる2017年度についても、IFRSに準拠した数値を表示しております。

詳細は当社ウェブサイトをご覧ください。

サッポロホールディングス IR

検索

★ 会社概要

商号 サッポロホールディングス株式会社
(英文 SAPPORO HOLDINGS LIMITED)
設立 1949年9月1日(創業明治9年)
資本金 53,887百万円
事業内容 持株会社
本社 〒150-8522
東京都渋谷区恵比寿四丁目20番1号
(恵比寿ガーデンプレイス内)

★ 株式の状況

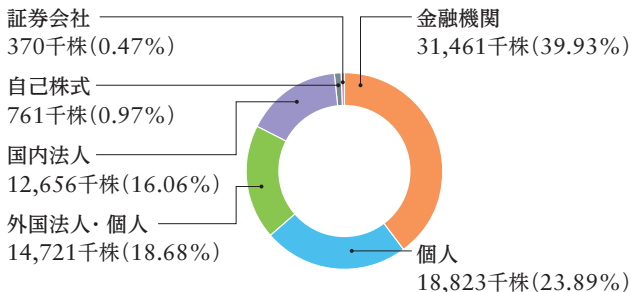
発行済株式の総数78,794,298株
株主数63,525名

★ 大株主 (上位10名及びその状況)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,752	7.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,604	3.34
資産管理サービス信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ信託銀行口	2,442	3.13
日本生命保険相互会社	2,237	2.87
明治安田生命保険相互会社	2,236	2.87
農林中央金庫	1,875	2.40
丸紅株式会社	1,649	2.11
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	1,594	2.04
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,438	1.84
大成建設株式会社	1,400	1.79

※ 持株比率は自己株式(761,096株)を控除して計算しています。

★ 所有者別株式分布状況



★ 役員 (取締役・監査役・グループ執行役員)

取締役 会長 上條 努 常勤 監査役 溝上 俊男
代表取締役社長 尾賀 真城 監査役 関 哲夫
常務取締役 征矢 真一 監査役(社外) 佐藤 順哉
取締役 役員 福原 真弓 監査役(社外) 杉江 和男
人事部 部長 常務グループ執行役員 高島 英也
取締役 役員 大平 靖之 常務グループ執行役員 岩田 義浩
R&D本部 部長 常務グループ執行役員 三宅 祐一郎
取締役(社外) 鵜澤 静 常務グループ執行役員 時松 浩
取締役(社外) マッケンジー・クラグストン グループ執行役員 岸 裕文
取締役(社外) 福田 修二 グループ執行役員 花澤 靖弘

ウェブサイトのご案内

サッポロホールディングスは2019年4月に、
皆様により分かりやすく情報をお伝えできるよう、
ウェブサイトのデザイン・レイアウトを
リニューアルしました。



◀ トップページ
URL <https://www.sapporoholdings.jp/>



個人投資家の皆様に、サッポログループをより深くご理解いただくために「個人投資家の皆様へ」ページもさらにわかりやすくしました。

▲ 個人投資家の皆様へ

URL <https://www.sapporoholdings.jp/ir/investor/>

優待制度のご案内

当社は、当社株式を長期にわたり継続して保有する株主様との関係をより一層大切にしていくことを主な目的として、株主優待制度の一部を見直し、長期保有株主様(3年以上)を優遇する制度を新たに2018年12月期より導入いたしました。

長期保有株主様 (3年以上保有) (注1)

2018年度
ご優待

200株
~
1,000株
未満の
株主様

次の①~④の中から一つを選択していただきます。

- ① ビール詰め合わせセット(350ml缶×12本) ② 食品・飲料水詰め合わせセット(3,000円相当)



- ③ サッポログループネットショップ
ECクーポン(3,000円)

- ④ 社会貢献活動への寄付
(2,000円) (注3)

3年未満保有の株主様 (注2)

2018年度
ご優待

200株
~
1,000株
未満の
株主様

次の①~③の中から一つを選択していただきます。

- ① ビール詰め合わせセット(350ml缶×8本) ② 食品・飲料水詰め合わせセット(2,000円相当)



- ③ 社会貢献活動への寄付(2,000円) (注3)

100株~200株未満の株主様

1,000株以上の株主様

の優待もご用意しております。

詳細はこちら

サッポロホールディングス 株主優待 検索

URL

<https://www.sapporoholdings.jp/ir/investor/benefit/>

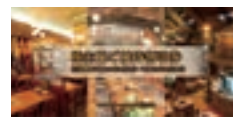


スマートフォンは
右のQRコードより
アクセスいただけ
ます。



さらに

200株以上
保有の株主様



左記とは別に200株以上保有の株主様に対してサッポロライオンチェーン等でご利用いただける「株主様ご優待割引券(20%割引券)」を5枚贈呈

適用
時期

- 毎年12月31日(株主名簿基準日)現在の株主名簿に記載または記録された100株以上の株主様が対象となります。
- このうち、次の2つの要件を満たした方が長期保有株主様となります。
 - ① 株主名簿基準日を起点として連続3年以上にわたり、100株以上を保有されている方
 - ② 上記①の期間、同一株主番号で株主名簿に記載されていた方

※2016年7月に株式併合実施により、それ以前の保有株式については1,000株(単元株)以上保有している株主様が対象となります。

(注1) 長期保有株主様とは、「100株以上を連続3年以上保有している株主様」で、株主名簿基準日(6月30日および12月31日)の株主名簿に連続7回以上記録された同一株主番号の株主様をいいます。

(注2) 毎年12月31日現在の株主名簿に記載された長期保有に該当しない株主様は、これまで通り従来の優待内容となります。

(注3) 株主様からの寄付金額に加え、当社から同額を寄付いたします。社会貢献への寄付先となる活動団体については、毎年「株主様ご優待のご案内」でお知らせします。

その他

お申込み手続きは、これまで通り定時株主総会の招集ご通知に株主様ご優待のご案内と申込書を同封してお送りします。

トピックス

その1

多くの株主様からご要望を頂戴しておりました『株主様限定ビール』を長期保有株主様を対象にご用意しました。2019年度もご期待ください。



その2

ECクーポンは「サッポログループネットショップ」で、ワインやアイスなど、お好みの品を選択できると好評です。



株主様アンケート結果のご報告

本年の株主様ご優待品の発送に同封いたしましたアンケートに、11,763名の株主様からご回答をいただきました。ご協力まことにありがとうございました。ここに、ご回答結果と株主様よりいただいたご意見等の一部をご紹介します。

サッポログループに対する ご意見ご要望をお聞かせください。

- ・中長期で成長する企業であって欲しい。
- ・さらなる経営の多角化を望みます。
- ・コア事業を複数保有しつつも、新たな分野へ投資してください。



当社 サッポログループは、今後もビールやレモンなどの根源となる事業領域において新たな価値を次々と生み出していく一方で、『食』分野の拡大によって、成長機会を獲得していくことを目指しています。2019年3月には、原料豆乳の搾汁設備を含む、豆乳ヨーグルトの製造設備が竣工しました。自社で内製化して、製販一体の事業展開を開始することによって、お客様のニーズにあった豆乳ヨーグルト商品の積極的な展開を図り、『食』分野の事業基盤のさらなる強化と企業価値向上に取り組んでまいります。

- ・株主優待の商品の梱包の始末に手間取ります。もっと簡易な包装で良いと思います。
- ・「株主優待品」と外箱に表記せず送付願います。



当社 貴重なご意見をありがとうございました。来期の優待品については、梱包方法や外箱への表記について検討します。今後も、株主様の声を反映していくように取り組んでまいります。

- ・スピリッツ部門の強化、不動産事業の展開に期待しています。
- ・「サッポロセレクション」フルーティで美味しかったです。一般販売してください。



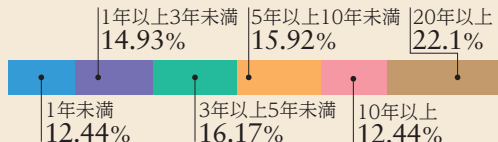
当社 貴重なご意見・ご要望を賜り、まことにありがとうございます。今後の情報発信やIR活動などの参考にさせていただきます。

ご回答者様データ

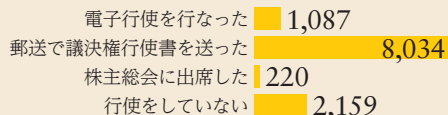
性別



保有年数

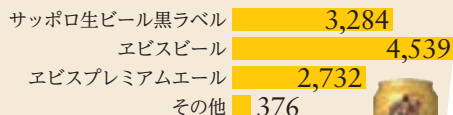


今回の議決権行使についてお聞かせください。



優待品で希望する商品は下記のどの商品ですか。

ビール



1位 エビスビール



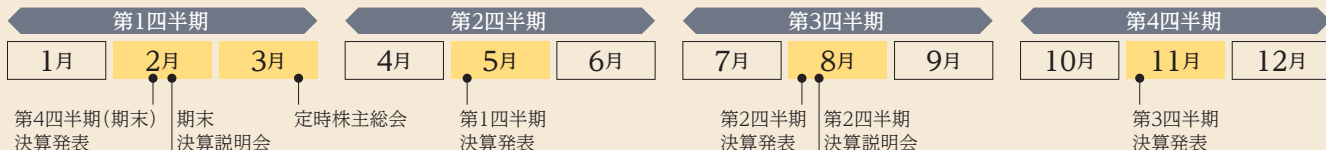
食品



1位 じゅくりコトコト コーンポタージュ



IRカレンダー



麦とホップ

リニューアル新発売



（注）（特選）（純）（麦）（ホップ）

朗報

ビールにもっと近い
新ジャンルへ。



New!

サッポロビールは「サッポロ 麦とホップ」を8月27日にリニューアル新発売しました。発売以来、ビールに近い味わいを目指し進化を続けてきた麦とホップですが、今回のリニューアルでは初めて仕込方法を見直し、ビールの伝統的な仕込方法である「1回煮沸法」を採用。そして、素材には麦本来のエキス分を通常よりも豊富に含む「欧州産麦芽」や、ドイツバイエルン産アロマホップ「ハラタウ・トラディション」を一部使用することで、「飲みごたえのこく、飲み飽きない後味」を実現。ビールにもっと近い新ジャンルへと生まれ変わりました。TVCMではご自身もビールが大好きだと語る香川照之さんを起用し、「僕らが待っていたのはこのうまさだ!」と、仲間たちと共に、飲んで、食べて、歌って麦とホップを楽しむ姿を描いています。ビールが好きな皆様に自信を持ってお届けする、新しい麦とホップを是非お楽しみください。

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月
配当金受領の株主確定日	12月31日及び 中間配当を実施するときは6月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 (フリーダイヤル)0120-288-324
公告方法	電子公告 https://www.sapporoholdings.jp/ ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。

株式事務に関するご案内

配当金の口座振込の制度をご存知ですか？

配当金を郵便局の窓口で
お受け取りの場合

- 受け取り忘れのリスクがあります。
- 郵便局へ行く手間がかかります。

配当金の振込指定の場合

ご指定の口座に振り込まれるため、配当金のお支払い開始日に安全かつ確実に配当金のお受け取りができます。

- お手続きに関するお問い合わせ先
- 証券会社に口座をお持ちの株主様は、お取引口座のある証券会社へお問い合わせください。
- 特別口座に記録されている株主様は、みずほ信託銀行株式会社証券代行部へお問い合わせください。

特別口座からの
振替のお手続きは
お済みですか？

特別口座に記録された株式は、単元未満株式(100株に満たない株式)の買取・買増請求を除き、売買や譲渡等のお取引を行うことができません。特別口座に記録された株式の取引を行うためには、証券会社にお取引口座を開設していただくうえで、特別口座から証券取引口座に振替を行っていただく必要があります。特別口座から証券取引口座への振替をご希望の株主様は、みずほ信託銀行株式会社証券代行部へお問い合わせのうえ、お手続きをお願いします。



発行者：サッポロホールディングス株式会社

〒150-8522 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番1号(恵比寿ガーデンプレイス内)